

2026年度 看護部教育計画(教育・管理領域 No3)

領域	コース	対象	目的	目標	方法	時間	
教育・管理領域における教育	リーダー教育	レベルⅡ	1. 組織の中でマネジメントノ必要性を知り、自分やリーダー・メンバーの立場・役割を理解し、相互援助することができる 2. 事例をととして看護を語る事ができる	①各部署の看護体制の中でリーダーシップが発揮できる ②自分の経験を語ることで大切にしている看護に気がつくことができる	熊本県看護協会 研修参加	熊本県 看護協会 教育計画 参照	
					計画提出		
					講義 GW	90分	
					発表	30分	
	教育担当者	レベルⅢ	1. 後輩・看護学生に対してフォローを受けながら指導に関わることができる	①後輩・看護学生の指導について関心を持つことができる ②具体的な指導方法・接し方を理解する ③後輩・看護学生の指導がている	講義 GW	360分	
					発表	120分	
		実地指導者	1. 臨床において教育的立場で新人の成長を支援する能力を養う 2. 新人研修が円滑に行えるように準備ができる	①実地指導者の役割を理解する ②新人看護職員臨床研修が効果的に行われるように、実地指導者と教育担当者が方向性の確認を行う ③集合オリエンテーションⅡの研修計画書作成と研修準備を行うことができる ④新人看護師の個別に合わせた計画の修正ができる ⑤新人教育を通し自己の成長に繋げることができる ⑥医療安全の事例を通して新人教育に繋げる ⑦チーム医療として急性期病院で必要な報告スキルを習得する ⑧報告スキルを新人教育に繋げることができる ⑨人材育成に必要なコミュニケーションを実施できる	講義 GW	80分	
					講義 GW	90分	
					発表	60分	
					講義 GW	420分	
		師長・主任	1. それぞれの立場を認識し、指導的・管理的役割が発揮できる	①看護サービスのマネジメントを理解する ②マネジメントに必要な知識と技術を理解する ③看護管理の基本を理解し、看護管理を実践する	講義 GW	420分	
		総合教育	全看護職員	1. 専門職業人として広い視野を持ち、人間性を高める 2. 医療看護の動向を知り、知識を深める 3. 看護観を確立する	①専門職業人として、看護・医療の動向を踏まえた知識や技術の取得ができる ②自己の看護実践活動を院内・外へ発表することができる ③看護部運営について共通理解する	講義	30分
						発表	50分
		身体拘束最小	1. 認知症について理解を深める 2. 身体的拘束最小化の取り組みについての知識を深めることができる	①認知症について理解を深める ②身体的拘束最小化の取り組みについての知識を学び、臨床現場での身体的拘束の最小化に努める	講義	60分	
その他	全看護職員	1. 病棟管理をする上で「重症度、医療・看護必要度」の適切な評価をすることができる	「重症度、医療・看護必要度」の評価を学ぶ	講義	30分		